

自宅からのWEBサイト公開 -- フレッツ ISDN (NTT提供)編

1. 1. 自宅からのWEBサイト公開 はじめに

この、Terra-International, Inc. のホームページは、レンタルサーバーを使っていますが、Terra-InternationalにはWindows 2000 Serverマシンもあり、このマシンで作成したWEBを、なんらかの形で公開できないものか、と常々考えておりました。ただ、問題となるのは、フレッツIP接続で一般的なプロバイダーを利用する場合、IPアドレスが固定ではないので、専用線接続のように保有ドメイン名にIPアドレスを振り当て、WEB公開、ということは通常できません。

では、どうすればよいか、というと、「動的IPアドレスをマッピングしてくれるサービス」を利用し、更に、フレッツISDNで利用するダイヤルアップルーターの設定で、TCP/IPのポートの一部を開放すればよいのです。今回は、動的アドレスをマッピングするサービスをご紹介しますとともに、大体の設定の概要を説明いたします。

尚、これによって、例えばTerra-Internationalの場合、WEB開発の受託の際に、わざわざ成果物をお客様のところにもっていかなくても、ある程度のテストはしていただけます。SOHOの方々には、特に朗報となるでしょう。

2. 2. 自宅からのWEBサイト公開 基本となる事

NTTのフレッツISDNサービスに加盟してください。尚、フレッツADSLでもできるようです。Firewallが入っているのが一般的なもので、ケーブルでは無理のはずです・・・以下は、ISDNに限定して話をすすめます。

(WEBを公開する場合) IIS (Internet Information Server) をインストールしてください。NT4.0 Serverの場合は、Service Packに、Windows2000 Serverの場合は、デフォルトでついてきます。Windows 9x系のPWS (Personal Web Server)でも問題はありません。

開放する、PCのローカルIPアドレスを設定してください。一般的には、192.168.1.xです。ルーターがDHCPサーバーをかねている場合、できれば固定して指

定するようにしましょう。

ルーターの設定で、「NATe拡張設定」にて、開放するポートを指定してください。WEBサーバーを公開する場合は、ポート80を開放するようにしてください。IPアドレスの指定をする場所がある場合は、上で設定したローカルPCアドレスを入れてみてください。こちらへんは、お持ちのルーター等により、色々とかわってしまいます。私はcomstarzを使っていますが・・・。

尚、
HTTP: 80 (WEBサーバー)
TELNET: 23
FTP : 20,21
SMTP : 25
POP3 : 110
が一般的なポートです。

IISなどのWebサーバーが起動しているかどうかは、http://(Your computer Name)/でも確認できます。

3. 3. ドメイン名とIPアドレスをマッピング

海外には、色々なサービスがありますが、無料で利用できるもので、結構おすすめなのが、dyndns.orgとhn.orgです。特に、hn.org (ハンマーノード) は、独自のドメイン名を利用することができます。尚、日本にも最近はいくつか動的DNSサービスを展開しているところがあるようです。Google等で検索して下さい。

ハンマーノードに限って話をすすめると・・・。

まず、

でアカウントを作成します。[Create an Account](#)です。指定したメールアドレスにメールが入ります。http://hn.org/(User Name)/ というURLができあがります。次に、[Modify your Account](#)で、アカウント情報を更新します。アカウント更新は、まだあまり必要としません。適当なときに書き換えてください。

「[Tools](#)」で、「[Your IP - Your IP Address](#)」を選びます。そうすると、今の接続状態でのIPアドレス (プロバイダにより動的に割り当てられたIPアドレス) が表示されます。TOP画面に戻って、IPの欄に先ほど表示されたIPアドレスを入れ「UPDATE」をおします。尚、WEBサーバーを公開する設定にしてあれば、先ほどのIPアドレスをブラウザでたたけば、なんらかの表示がされているはずですが。

自宅からのWEBサイト公開 -- フレッツISDN (NTT提供)編

[http://hn.org/\(User Name\)/](http://hn.org/(User Name)/) のURLを指定すれば、WEBサーバーが公開されていることがわかります。

次に、自分の持っているドメイン名を使えるようにします。まあ、その前に、ドメイン名の取得が必要です。onamae.comあたりが良いのではないのでしょうか。ドメイン取得した際、NS (Name Server)をどうするかという設定ができるはずですから、そのNameServerを

Primary NS : ns1.hn.org (63.169.118.18)
Secondary NS : aux1.hn.org (63.169.118.19)

にします。

次に、

の[Create an Account](#)に移ります。アカウント (先ほどのVanity Dynamic DNSと同じでも違って良い) を作成後、IDとメールで送られたパスワードを入力し、「Login」をします。「Insert Domain」を選択します。Domain Name:の部分に、自分の取得しているドメイン名 (***.com // *.net 等) を入れます。上のNS (Name Server) の書き換えを行って24時間以上たっている場合は、「Check here if domain is already delegated to ns1.hn.org / aux1.hn.org (The Hammernode will verify a yes "checked" response.)」の部分をチェックしておくといでしょう。

次に、画面を戻して、「Modify Domain」のプルダウンメニューに先ほど入れたドメイン名が入ったことを確認します。ドメイン名を選択して、クエリ送信を押します。ここで、Rec Typeが「A」になっているものを「Delete」します。そして、「Insert a new Resource Record:」で、Rec FQDNに自分のドメイン名を、Rec Typeに「A」を、「Rec Value」に、上の「[http://www.hn.org/\(User Name\)/](http://www.hn.org/(User Name)/)」を、DynDNSを「1」にして、<Insert>します。<Queue for Varification>のボタンがある場合は、まだ、NSの設定が完全にhn.orgのNSにいていません。成功していれば、「This Domain was verified against the root servers on ...(date)....」が表示されます。

これで、設定は完了です。[http://www.\(yourdomain\)/](http://www.(yourdomain)/)が表示されれば、大成功。

あとは・・・ですね・・・。IPアドレスは動的に変わってしまうので、<http://www.kvtek.com/>にある、[yiPost](#)などを利用し、30分に一度くらいInternetにアクセスして、自分のIPアドレスをhn.orgサーバーに登録するように指定しましょう。このプログラムが、PCが立ち上がったときに自動的に実行されるよう、

autoexec.batを書き換えるなりなんなりしてください。

[yiPost](http://support.dyndns.org/dyndns/clients/) 以外にも、いくつか良いツールがあります。
<http://support.dyndns.org/dyndns/clients/> の「Client Listings」で、自分のPCのOSにあわせたツールを選んでください。（私は、ロシア人が好きなので、なんとなくyiPostにしてみました（笑））

4. 4. 最後に

本当は、こんな短くかけないほど、いろんな技術が必要なのですが、概要を大体書かせていただきました。あとは、本人のやる気次第（あとは英語力？）です。がんばってください。